

主な施策の実施状況及び 進捗管理と計画推進について

- (1)主な施策の実施状況※抜粋 …………… P1～P7
- (2)進捗管理と計画推進 …………… P8

令和6年3月
富谷市



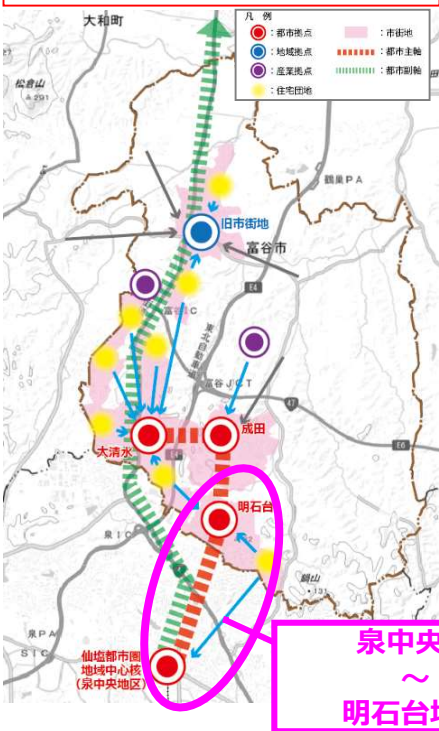
(1) 主な施策の実施状況

施策① 新たな軸となる基幹公共交通の整備

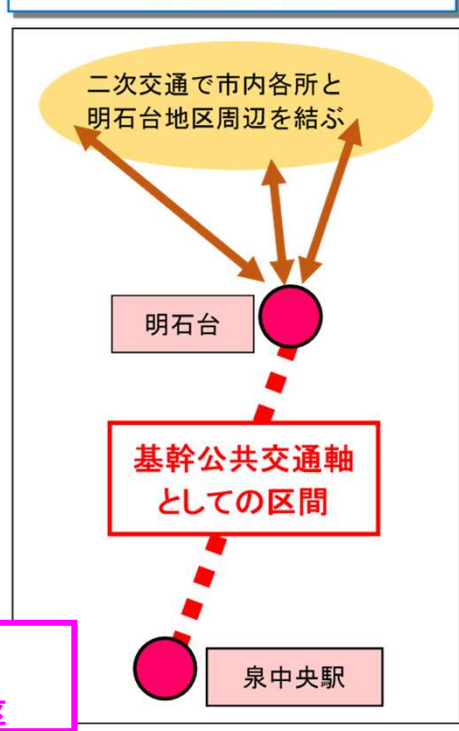
まちづくりの将来像である「住みたくなるまち日本一」を達成するための中心施策として、泉中央駅にかけての基幹公共交通軸の確立に向けた検討や施策の具体化を図る。

具体施策	実施主体	短期(5年) 2020~2024	中期(10年) 2025~2029	長期 2030~
主要バス路線の運行サービス強化 七北田西成田線における定時性の確保 【第1ステップ: バスを中心とした対応】	宮城交通 富谷市	基幹強化検討	運行強化、分かりやすさ強化	
新たな公共交通軸の事業化検討・実施 【第2ステップ: 新たなシステムによる対応】	富谷市	基本計画策定 関係者調整	実施計画策定 関係者調整	事業化 (整備、導入)

交通体系の将来像 (都市主軸と副軸)



基幹公共交通軸の区間 (想定イメージ)



基幹公共交通想定案



○地下鉄整備

○ガイドウェイ・ランジット整備

基幹公共交通の整備に向けた検討

- R2年度 「基幹軸新交通システム導入可能性調査」の実施
- R3年度 「官民連携による新たな都市交通システムの整備手法検討調査(地下鉄整備)」の実施
- R4年度 「新たな都市交通システムの事業化検討調査(地下鉄整備)」の実施
- R5年度 「富谷市次世代都市交通システムの導入可能性調査(ガイドウェイ・ランジットを含むBRT整備)」の実施
※資料2参照

【第1ステップ(短中期)：既存バスを中心とした対応】
既存バス路線を活用し、主軸、副軸を中心に分かりやすさ向上や路線の維持強化

【第2ステップ(長期)：新たな方策による基幹公共交通軸の強化】
明石台地区-泉中央駅間の新たな公共交通軸の導入による機能強化

地下鉄整備もしくは
ガイドウェイ・ランジット整備を想定

(1) 主な施策の実施状況

施策③ バス路線の再編(民間バス路線)

「**施策① 基幹交通の整備**」や「**施策② 交通結節点**」と連携し、バス路線の再編について、基幹公共交通軸、結節点を中心として、運行の効率性および利便性向上を図る。

具体施策	実施主体	短期(5年) 2020~2024	中期(10年) 2025~2029	長期 2030~
主要バス路線の運行サービス強化 【第1ステップ:バスを中心とした対応】	宮城交通、 富谷市	基幹強化検討 → 運行強化、分かりやすさ強化		
新たな基幹公共交通の整備と 合わせたバス路線網の構築 【第2ステップ:新たなシステムによる対応】	宮城交通		計画	路線再編

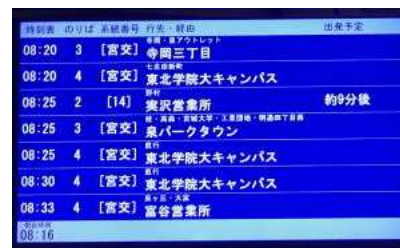
【第1ステップ(短中期):既存バスを中心とした対応に併せ実施】

※ 既存バス路線による基幹公共交通の形成を行う

既存のバス路線を活用し、都市主軸(明石台・成田・大清水)や、都市副軸を中心に、分かりやすさ向上や路線の維持強化を図る。

- ① バス路線のわかりやすさ向上
- ② バス接近情報(運行情報)の提供
- ③ 運行サービス水準(本数、時間帯)の維持・強化
- ④ バス乗換案内サービスの充実※市民バス関連

- ・NAVITIME(バス乗換案内)に市民バス運行情報を掲載 (R3.1~)
- ・Googleマップ経路検索サービスに市民バス運行情報を掲載(R6.4~予定)



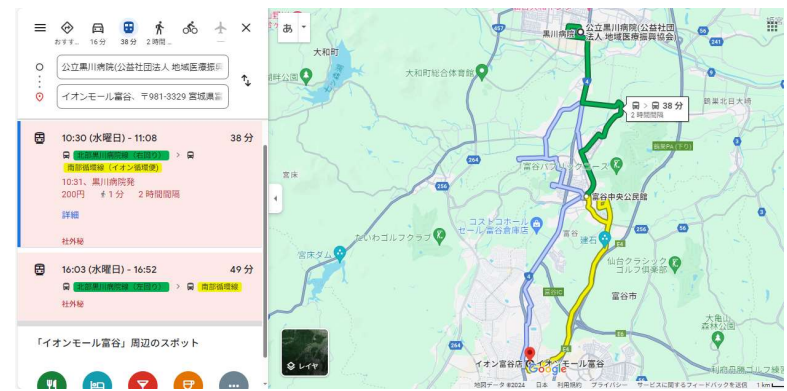
バス発車時刻案内
(デジタルサイネージ)泉中央駅



どこバス仙台(接近情報)
資料:宮城交通



NAVITIME(バス乗換案内) 市民バス※R3.1~



Googleマップ経路検索(市民バス)

【第2ステップ(長期):新たな方策による基幹公共交通の強化】

※ 基幹公共交通の導入とあわせたバス路線網の構築を図る

(1) 主な施策の実施状況

施策⑤ 市民バスの再編(富谷市・市民バス)

令和2年10月1日に第1次再編として大規模なダイヤ改正を実施。一定の利用がある**西部、南部循環線**は利用促進のため、**イオン循環便(全13便)**を増便したが、コロナ禍によりバスの利用者自体が減少し、再編の効果検証を図るのが難しい状況であった。

具体施策	実施主体	短期(5年) 2020~2024	中期(10年) 2025~2029	長期 2030~
契約更新にあわせた第1次再編	富谷市	第1次再編		
市民バスの第2次再編 (路線変更等)	富谷市	計画	第2次再編	
新たな公共交通軸整備にあわせた第3次再編	富谷市		計画	第3次再編



市民バスステッカー(側面)
※R3.4~



中型バス(3台)※R2.10~1台増車



マイクロバス(3台)

▼第1次再編後の運行便(路線一部変更、ダイヤ変更等)・1日当たりの利用者数

	再編前			再編後					備考
	便数	1日当たりの利用者数		便数	1日当たりの利用者数				
		R元年度	R2年度 4~9月		R2年度 10~3月	R3年度	R4年度	R5年度 4~12月	
北部黒川病院線	8便	38.6	29.7	9便	36.3	33.4	37.3	35.8	・R4.4.1~夕方便1便を増便
大亀成田線	2便	5.5	4.9	-	-	-	-	-	・R2.10.1~運行休止(デマンド型交通へ移行)
東部循環線	3便	19.4	14.5	1便	6.5	9.3	8.9	6.9	・東部循環線の2便は、大亀山森林公園線に統合
大亀山森林公園線	4便	9.7	7.6	4便	15.4	12.0	11.0	6.4	
西部循環線	8便	180.7	126.6	8便	192.7	207.6	201.4	183.2	・R2.10.1~イオン循環便を増便
西部循環線(イオン循環便)	-	-	-	7便					
南部循環線	6便	113.8	72.9	6便	97.2	98.0	118.6	123.1	・R2.10.1~イオン循環便を増便
南部循環線(イオン循環便)	-	-	-	6便					
合計	31便	367.7	254.9	41便	357.2	361.8	377.2	355.5	

(1) 主な施策の実施状況

施策⑤ 市民バスの再編(富谷市・市民バス)

市民バス再編と併せ、令和2年10月1日より市民バスの代替手段として、市内の北部区域・東部区域に**デマンド(予約乗合)型交通**の運行を開始し、利用者ニーズに柔軟に対応した運行形態の改善を適宜行うなど、利便性の高い運行に努めている。



デマンド型運行車両
トヨタ ノア 3台

▼デマンド型交通登録者数(R6.1.31時点)

区分	区域		計
	北部	東部	
70歳以上	9	69	78
中学生以上	3	12	15
障がい者 (70歳以上含む)	3	7	10
小学生	0	3	3
計	15	91	106

具体施策	実施主体	短期(5年) 2020~2024	中期(10年) 2025~2029	長期 2030~
契約更新にあわせた第1次再編	富谷市	第1次再編		
市民バスの第2次再編 (路線変更等)	富谷市	計画	第2次再編	
新たな公共交通軸整備にあわせた第3次再編	富谷市		計画	第3次再編

▼デマンド型交通 年度別利用実績

		R2年度 10~3月	R3年度	R4年度	R5年度 4~12月
運行日数		121日	243日	242日	185日
運行便数	北部	64便	322便	329便	252便
	東部(市役所方面)	221便	510便	570便	506便
	東部(イオン方面)	84便	223便	287便	234便
	計	369便	1,055便	1,186便	992便
利用者数	北部	70人	379人	389人	290人
	東部(市役所方面)	381人	780人	745人	729人
	東部(イオン方面)	117人	365人	374人	302人
	計	568人	1,524人	1,508人	1,321人
1日当たりの利用者数	北部	0.6人	1.6人	1.6人	1.6人
	東部(市役所方面)	3.1人	3.2人	3.1人	3.9人
	東部(イオン方面)	1.0人	1.5人	1.5人	1.6人
	計	4.7人	6.3人	6.2人	7.1人

登録者数は100人を超えており、1日あたりの利用者数も増加してきている。

(1) 主な施策の実施状況

施策⑨ 共通運賃・乗り継ぎ割引の導入

仙台市区間との公共交通の利用促進及び利便性向上、既存バス路線の維持確保及び拡充を図るため、イオン富谷店を起終点化し、市民バスと路線バスを結節する乗り継ぎ運行を実施。

具体施策	実施主体	短期(5年) 2020~2024	中期(10年) 2025~2029	長期 2030~
割引運賃適用、運賃体系の見直し	宮城交通、富谷市	割引・体系見直し		
支払いの一元化、定額制など新たなモビリティのあり方と合わせた支払い体系の構築(MaaS)	富谷市		MaaSの導入	

【イオン富谷店を拠点とした市民バスと宮交バスとの乗継運行】

- ・料金: 大人片道100円
- ・運行日: 平日(月曜日から金曜日)
※宮交バスの平日ダイヤ設定日のみ
- ・区間: イオン富谷店～泉中央駅
- ・路線: 上桜木大清水線



路線バス往復乗車補助券



▲イオン富谷店市民バス乗り継ぎ場と宮交バス停

■「市民バス」と「宮城交通バス」の泉中央駅への乗り継ぎ割引実施中!

市では、泉中央駅へのアクセス向上を図るため、「市民バス」と「宮城交通バス」の「イオン富谷店」での乗り継ぎ割引を実施しています。

「イオン富谷店」まで市民バスにご乗車いただき、市民バスで発行する往復乗車補助券を利用することで、宮城交通バスの泉中央駅までの運賃が通常大人390円のところ、100円でご乗車いただけます。

※詳しくは市公式ホームページをご覧ください。



市公式
ホームページ

企画政策課 交通政策推進室 ☎022-358-3248

▲広報とみや 令和6年2月号に制度周知記事を掲載

▼路線バス往復乗車補助券 年度別利用実績

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 4~12月
利用枚数	3,961	2,361	2,552	2,997	2,913
1日当たり 利用枚数	16.7	9.7	10.5	12.3	15.7

R2はコロナ禍の影響で利用者が減少したが、その後徐々に利用者が伸び、R5はコロナ禍前に戻りつつある。

(1) 主な施策の実施状況

施策⑩公共交通利用料金の補助

・高齢者や障がい者等に対応した公共交通利用料金の補助を実施。

具体施策	実施主体	短期(5年) 2020～2024	中期(10年) 2025～2029	長期 2030～
補助制度の検討・拡充	富谷市	補助制度 検討		
富谷市版モビリティ補助制度の 拡充	富谷市		補助制度 拡充	

▼市民バス無料乗車証交付状況

単位(人)

	R1	R2	R3	R4
70歳以上 (手帳保持者除く)	660	706	620	617
手帳保持者 (70歳以上含む)	141	114	169	157
東日本大震災避難者	53	51	31	26
運転免許返納者	9	8	12	18
遠距離通学児童	255	300	321	304
計	1,118	1,179	1,153	1,122

▼とみばす 交付率・支援状況

		R1	R2	R3	R4
高齢者 (免許返納者含む)	交付率 (%)	40.3	41.1	40.5	40.8
	支援件数 (件)	2,408	1,638	1,592	2,030
	支援額 (千円)	24,080	16,380	15,920	20,300
障がい者	交付率 (%)	24.7	25.0	24.2	23.9
	支援件数 (件)	265	202	192	224
	支援額 (千円)	2,650	2,020	1,920	2,240

高齢者・障がい者 外出支援乗車証「とみばす」

- 対象者
 - ①70歳以上の方
 - ②身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している18歳以上の方
 - ③運転免許を返納した60歳以上の方
- 対象交通手段：宮城交通、市民バス、仙台市地下鉄等
- 助成額：年間2万円
(うち1割自己負担)



市民バス無料乗車証

- 対象者
 - ①70歳以上の方
 - ②身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している方
 - ③運転免許を返納した60歳以上の方
 - ④遠距離通学児童
 - ⑤東日本大震災避難者
- 対象交通手段：市民バスのみ



※令和3年度に「重度障がい者等福祉タクシー利用券助成事業」(H30.10月～)の対象者を拡充。

(1) 主な施策の実施状況

施策⑫公共交通利用に係る啓発(モビリティ・マネジメント)及び低炭素型まちづくりの推進

- ・利用促進のための総合時刻表、交通マップの作成や、子ども達への学校教育としての**モビリティ・マネジメント** ※教育、転入者向けの取組など具体化。
- ・低炭素・循環型社会の構築を図り、持続可能なまちづくりを推進。

具体施策	実施主体	短期(5年) 2020~2024	中期(10年) 2025~2029	長期 2030~
総合時刻表、交通マップの作成	宮城交通、富谷市	総合時刻表、マップの作成	時刻表、マップの周知、広報	継続
学校教育としてのモビリティ・マネジメント教育、転入者向けの取組みなどの企画、実施	富谷市	MM 教育等の企画	モビリティ・マネジメントの実施	継続



市民バス冊子(A5サイズ)
※ R6.4版発行予定

※モビリティ・マネジメント(MM)


一人一人のモビリティ(移動)が、個人的にも社会的にも望ましい方向(過度な自動車利用から公共交通・自転車等を適切に利用する方向)へ自発的に変化することを促す交通政策

▼燃料電池バス展示イベント (R5.8.19) イオンモール富谷駐車場



▼電気自動車納車式 (R4.8.9) トヨタ「C+pod」※市の公用車として活用





富谷市「ゼロカーボンシティ」宣言

～2050年 二酸化炭素排出実質ゼロに向けて～

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、猛暑や集中豪雨などの自然災害が頻発化、激甚化しています。本市においても、市民の暮らしが脅かされるような災害が身近に迫るなど、現在、まさに気候危機と言うべき状況であり、その対策は不可欠なものとなっています。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるように努力する」との目標が国際的に広く共有されるとともに、2018年に公表されたIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書においては、「気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」と示されています。

富谷市においては、まちづくりの将来像として掲げる「住みよくなるまち日本一」の実現に向け、環境政策の一環として平成29年度に環境省地域連携・低炭素水素技術実証事業「富谷市における既存物流網と純水素燃料電池を活用した低炭素水素サプライチェーン実証」の採択を受け、水素エネルギーの民生利用に向けた取組を進めております。

将来にわたって、安全安心に暮らすことができる豊かな環境を未来に引き継いでいくため、資源循環、エネルギーの地産地消など地球環境の貢献につなぐまちづくりを進め、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」をオール富谷で取り組むことを宣言します。

令和3年2月10日

富谷市長 *若日 裕哉*

(2)進捗管理と計画推進

都市・地域総合交通戦略の12施策や計画を推進するため、実施プロセスや課題の共有、施策実施後の評価指標の達成状況の評価・検証を踏まえて、適宜改善・見直しを行うPDCAサイクルにより、進捗管理を行う。

	短期（5年）	中期（10年）	長期（将来像）
	2020～2024年度	2025～2029年度	2030年度～
施策実施確認 内容の評価 (プロセス評価)	事業実施 実施状況の毎年の確認		
目標の達成 状況の評価 (効果の評価)	短期時点の 評価指標 中間年の目標評価	中期時点の 評価指標 中間年の目標評価	長期時点の 評価指標 最終年の目標評価
課題共有 改善と反映	実施の課題共有・改善検討	実施の課題共有・改善検討	実施の課題共有・改善検討

令和6年度

- ◆ 目標指標の中間評価
- ◆ 必要に応じて改善を実施

令和11年度(目標年次)

- ◆ 進捗状況と評価指標の達成状況を見直し
- ◆ 総合交通戦略の改定を進める。

